

1日も早い全線開業の実現へ

北陸新幹線の小浜を通るルートは昭和48年の整備計画決定以来、この地域の悲願でした。私も政治目標の一つとして、約30年にわたり市民の皆さんと力を結集して運動に取り組んできました。悲願が成就したことを心から喜びたいと思います。

駅の建設をはじめ新幹線整備が始まると、それに付随して道路整備やまちづくりなどの公共事業が活発になります。開業後は沿線地域にとって極めて大きな経済効果が期待できます。



小浜市長
北陸新幹線小浜・京都ルート建設促進同盟会 会長
まつぎま こうじ
松崎 晃治 市長 (59歳・生玉)

国土交通省の試算によると小浜・京都間は19分です。戦略的に小浜の強みを生かしていけば、多くの観光客を呼び込むことが可能になります。京都・大阪への通勤、通学も可能になるだろうと考えています。若者の人口流出を防ぎ、定住人口の拡大も期待できる場所です。

次は1日でも早く、大阪までの全線開業を実現させなければなりません。引き続き早期開業に向けて、全力で取り組んでいきます。

インタビュー



「小浜・京都ルート」決定を受けて市民らが喜びの声をあげる（市庁舎・12月20日）

特集 小浜に、「速い、春が来た！」

北陸新幹線「小浜・京都ルート」決定！！

平成28年12月20日に、与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームが、北陸新幹線敦賀以西のルートを「小浜・京都ルート」と決定しました。

これまで、市民、経済界、議会、行政が一体となって運動を展開。昭和48年に政府が発表した北陸新幹線整備計画に「小浜市付近を通る」と明記されてから43年目にして、長く活動を続けてきた市民の悲願が成就しました。

国土交通省がまとめた試算によると、小浜・京都間の運行時間は19分、さらに東京までの時間距離も県内で一番早く、という予測も出ています。これにより、小浜と都市部とのアクセス・利便性は飛躍的に向上し、観光誘客や交流人口の拡大、新たな企業進出につながる事が期待されます。

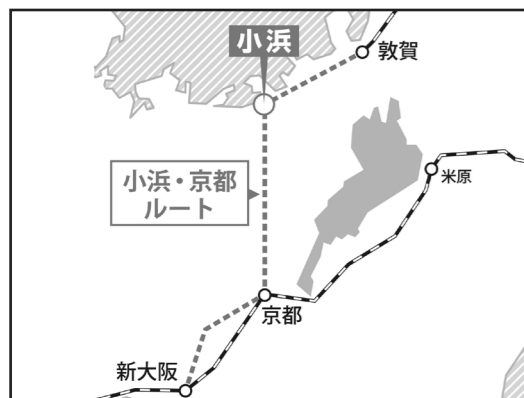
今後は、早期着工、全線早期開業に向けての取り組みを強化し、新幹線を地域活性化の手段とした新たなまちづくりが始まります。

■問い合わせ 人口増未来創造課 ☎64・6008

ルートを巡るこれまでの流れ

昭和47年8月	嶺南2市6町村が新幹線の若狭乗り入れを実現するための同盟会を設立
昭和48年11月	北陸新幹線整備計画が決定。経由地として「(福井県)小浜市付近」と明記
昭和61年10月	上中以西5市町村で北陸新幹線若狭駅設置促進期成同盟会を設立
平成元年8月	高崎-軽井沢が着工し、北陸新幹線の建設開始。平成9年10月に高崎-長野が開業
平成24年8月	金沢-敦賀を着工
平成27年3月	長野-金沢が開業
同年8月	与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームが検討委員会を設置。敦賀市以西のルート議論を開始
平成28年4月	与党検討委員会が、「小浜・京都」「米原」「舞鶴」の3案に絞り込む
同年11月	国土交通省が3案の建設費などの試算を公表
同年12月14日	与党検討委員会が「小浜・京都」に一本化する中間報告を取りまとめ
同年12月20日	与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームが「小浜・京都」を正式決定

速くて、安くて、便利！ 「小浜・京都」ルートの魅力



小浜・京都間の所要時間は19分で、運賃・料金2,110円。小浜・新大阪間の所要時間は34分で、運賃・料金5,050円。

建設延長約140km。想定工期は15年で、概算建設費は約2兆700億円の予定。

※国土交通省の試算（京都・新大阪間は北側ルートを通る場合）より



小浜市議会
したなか まさゆき
下中 雅之 議長 (57歳・生守)

市民、行政、議会が一体となって

市議会では、ルート問題を最重要課題として、平成25年から特別委員会を設置。市や会議所なども連携しながら、国土交通大臣や関係する国会議員への要望活動を実施してきました。今回のルート決定は、市民、行政、議会が一体となって取り組んだたまものであり、関係するすべての方に感謝の意を表したいと思います。

新幹線が小浜にもたらす効果は計り知れません。関西圏が通勤・通学圏内となる

小浜・京都ルート決定まで苦節43年。この間、紆余曲折がありました。多くの皆さんと乗り越えてきたからこそ、感慨深いものがあります。

新幹線は500年に一度のビッグバン。小浜は、千年前の大陸文化との交易、500年前の北前船寄港と、「交通」をキーワードに繁栄してきました。土地が狭く、人口も少ない中で、交流人口の増加なくして、繁栄はありません。

小浜・京都間19分というのは想像を絶する早さと言えます。

今後のまちづくり 発想の転換を



小浜商工会議所 会頭
小浜京都ルート・小浜駅実現住民の会 代表
うえの せいじ
上野 清治 さん (68歳・今宮)

「京都市小浜区」というぐらいのつもりで、まちづくりの発想を大きく変えなければいけません。小浜の「海」や「歴史文化」「食」といったアイデンティティを大事にしなが、京都の知見や経済、人材を取り入れるなど、一体感が必要です。

夢と希望にあふれた、当地の子どもたちこそが、新幹線時代を生きていきます。若者の交流が活性化することで、スケールの大きなまちになることも期待したいです。

時速260kmで、あしたが始まる

「小浜・京都ルート」決定のその先へ

北陸新幹線「小浜・京都ルート」決定!!

特集

インタビュー



挑戦し諦めなければ夢はかなう

若狭青年会議所では、「ひかりを若狭に」をスローガンに昭和46年の創立当初から新幹線の誘致活動を行ってきました。私もその一人として歴史の1ページに関わったことに感謝していますし、先人の取り組みを改めて誇りに感じました。

地域を変えるのは、携わる人の「情熱」です。行政、会議所、議会、団体、市民、みんなの力がつながって、最後には人の心を動かしたのではないのでしょうか。

今回のルート決定は、これまで関わってきた皆さんの運動の結果です。今日まで取り組んできた方々に心から感謝いたします。住民の会の共同代表に女性を選んでいたが、微力ながら活動に参加できたことを、とてもうれしく思っています。

これからは、新幹線を踏まえたまちづくりが始まります。「誰かがしてくれる」では、まちづくりは進みません。「私たちが」という思いを一人一人が持つことが大切ではないでしょうか。

人口減少が進む中、新幹線が通ること、定住人口の増加に期待したいですね。商業だけでなく、教育、福祉、文化など、大都会にない良さや、優位性、また小浜ならではの魅力がみがることで、選ばれるまちになると思います。

このチャンスを生かして、どう地域を作っていくか。男性も女性も、小浜に住むみんなで、熱い思いを持って考えていきたいです。

新幹線効果で定住人口の増加に期待



一般社団法人若狭青年会議所 直前理事長
かわしま ひであき
河嶋 秀明 さん (40歳・遠敷一丁目)

子どもたちが夢を描きにくい現代社会の中で、今回のルート決定を通して、挑戦し続けることの大切さや諦めなければ夢はかなうということを、次世代に伝えられたと思います。

先人が残してくれた宝物も、眺めているだけではダメ。人がみがくことで輝きます。これからも、地域の皆さんと共に、小浜を「どうしたいか」を考え、汗を流して、より良い未来をつかみ取っていききたいです。



小浜男女共同参画ネットワーク 会長
小浜京都ルート・小浜駅実現住民の会 代表
しば みよこ
芝 美代子 さん (70歳・和多田)